

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	若年の B 型肝炎ウイルス陽性者においてワクチンが効きにくい B 型肝炎ウイルスの存在を検討する研究 (HBs 抗原陽性若年献血者におけるワクチンエスケープ変異株に関する研究)
研究期間 (西暦)	2018 年 11 月～2023 年 9 月
研究機関名	東京大学医科学研究所 感染症分野
研究責任者職氏名	教授 四柳 宏

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

2016 年 10 月から B 型肝炎ウイルス (HBV) に対するワクチンの定期接種が開始され、HBV の新規感染は少なくなることが予想されますが、一方で多くの人が HBV に対する免疫を持つようになると、ウイルスに変異が入り、既存のワクチンが効かない HBV (ワクチンエスケープ変異株 vaccine escape mutant; VEM) の発生が起きることが海外ではわかっています。VEM の多くは増殖力は弱いですが、一部の株は増殖力が強いいため急性肝炎、慢性肝炎を起し問題になっています。このような VEM については、日本では数例の症例報告があるのみで、まだ十分に検討がなされていません。そこで今回の研究では、現状において日本国内の一般生活者に、どのような VEM がどの程度存在するかを検討します。この研究で得られる成果は、HBV に対する新しいワクチン開発に有用なものとなり得ます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：検査残余血液（血漿）

献血血液等の情報：感染症検査結果（B 型肝炎ウイルス）

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

血漿から DNA を抽出し、B 型肝炎ウイルス遺伝子、またはその一部を PCR 法にて増幅し、DNA 配列、アミノ酸配列を解析します。また B 型肝炎ウイルスの遺伝子型を市販のキットにて判定します。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

31J0035

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野
担当者	堤 武也
電話	03-5449-5338
Mail	tsutsumi@ims.u-tokyo.ac.jp